



大雨に係る鳥取県情報連絡会議

【日 時】令和5年7月7日(金) 午前10時30分～

【場 所】災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）

**【参加者】知事、副知事、統轄監、関係部局
鳥取地方気象台**

* 副知事、統轄監は別室で参加

* 各総合事務所、市町村、消防局、自衛隊、中国地方整備局、N T T西日本(株)、
中国電力(株)・中国電力ネットワーク(株)等には映像配信

【次 第】

1 最新の気象状況及び今後の予測等

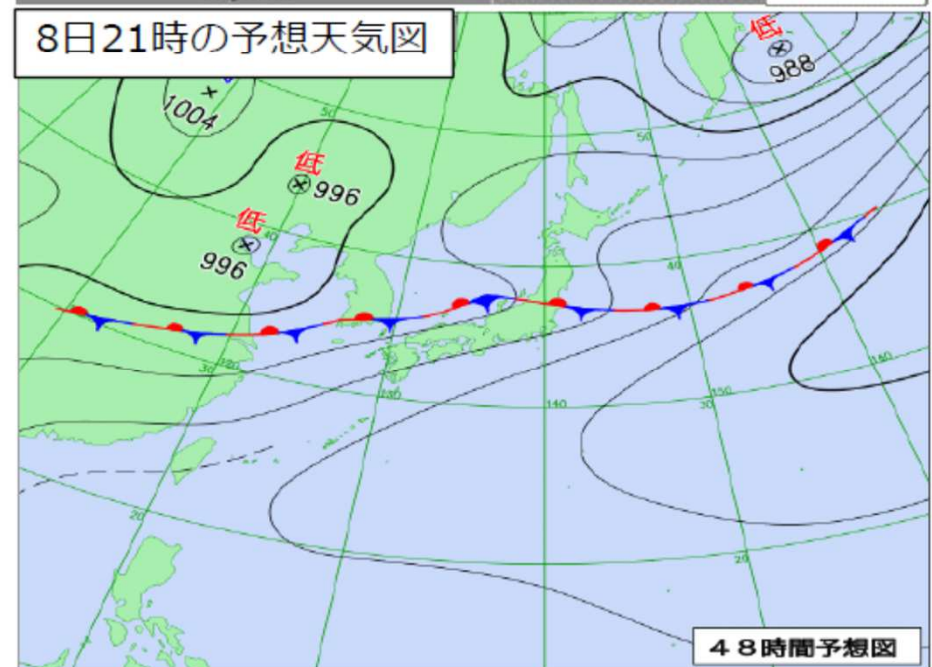
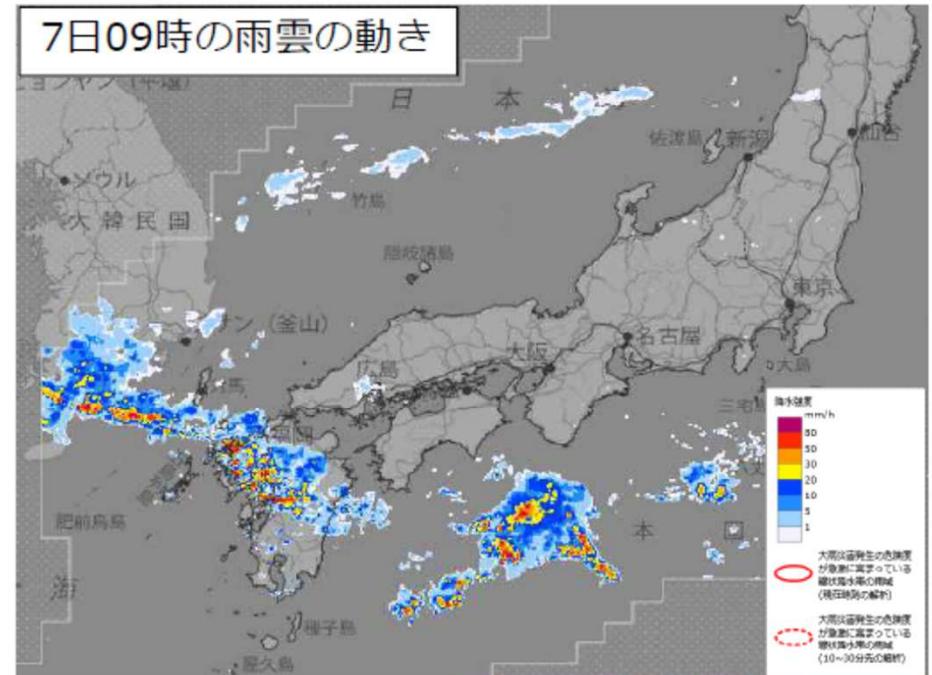
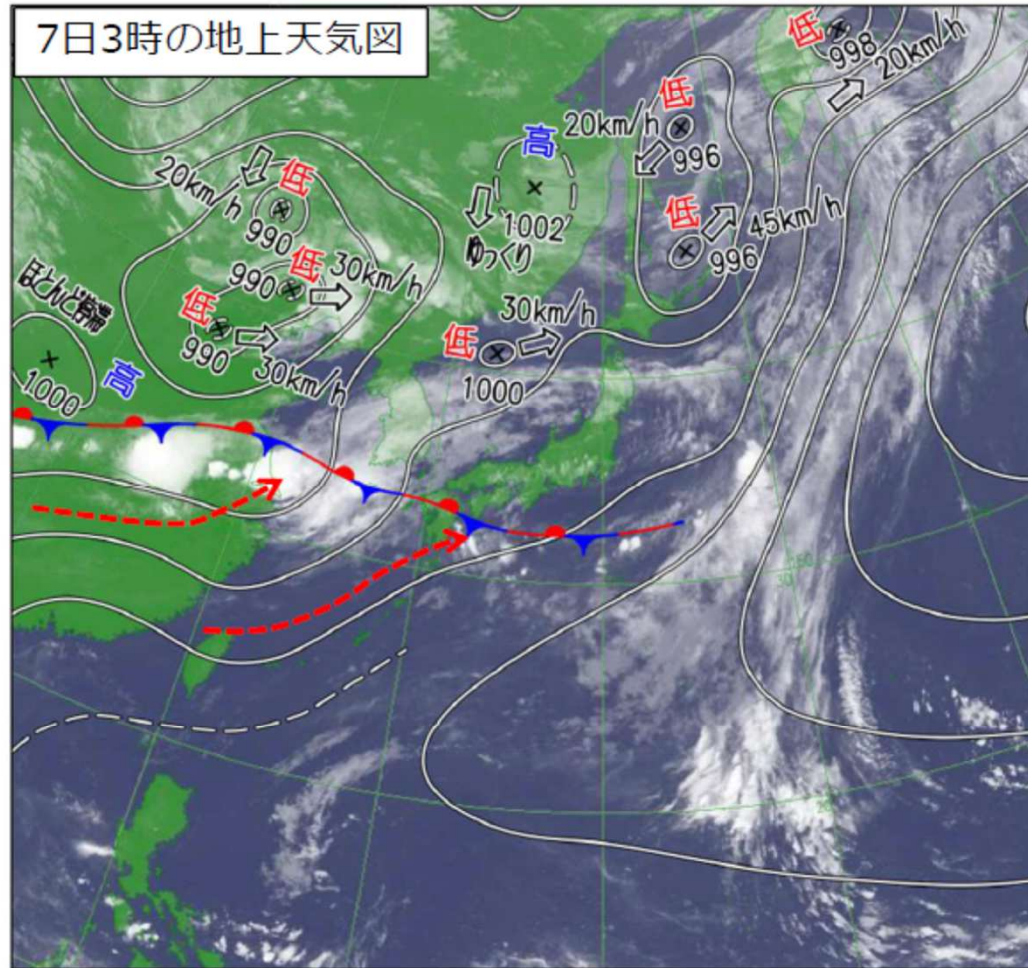
2 市町村・県民への注意喚起等

3 警戒・即応体制の確保等

(1) 県の体制

(2) 各部局の対応

概況



-----> 暖かく湿った空気の流れ

・梅雨前線は、8日にかけて中国地方を北上し、山陰沖に停滞する。前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、9日にかけて大雨となる見込み。

防災時系列

7日09時 現在

警報級の可能性 [中] の期間：8日夜のはじめ頃～9日

		7日					8日					9日						
		9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時
		昼前	昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃	夜遅く				
早期注意情報 [大雨]												[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]
大雨(浸水) (R1)	東部	0	0	0	5	10	10	10	15	15	30	30	30	15				
	中・西部	0	0	1	10	10	15	15	15	15	30	30	30	15				
大雨 (土砂)	東部												注	注				
	中・西部												注	注				
風 (メートル)	東部	陸上	4 ↓	4 ↓	5 ↻	5 ↻	5 ↻	7 ↻	5 ↻	5 ↑	5 ↑	6 ↑	6 ↑	5 ↻	4 ↻			
		海上	6 ↓	6 ↻	7 ↻	8 ↑	8 ↻	7 ↻	10 ↻	10 ↻	10 ↻	10 ↻	10 ↻	10 ↻	8 ↻	8 ↻		
	中・西部	陸上	5 ↓	5 ↓	5 ↑	5 ↑	6 ↑	6 ↑	5 ↑	8 ↑	8 ↑	5 ↻	6 ↻	5 ↑	4 ↑			
		海上	6 ↓	6 ↻	7 ↻	8 ↑	8 ↻	7 ↻	10 ↻	10 ↻	10 ↻	10 ↻	10 ↻	10 ↻	8 ↻	8 ↻		
波浪 (メートル)	鳥取県	1	1	1	1	1	1	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1				
雷	鳥取県				注	注	注	注	注	注	注	注	注	注				

警報級
注意報級
★ : 警報発表タイミング
 : 警報発表の可能性あり
 ★ : 注意報発表タイミング
 : 注意報発表の可能性あり

梅雨前線は、8日にかけて中国地方を北上し、山陰沖に停滞する。
 9日まで断続的に雨が降る見込みのため、特に山沿いの地域は、土砂災害に十分注意が必要。

・1時間降水量 (多い所)
 今日 (7日) 全域 10ミリ
 明日 (8日) 全域 30ミリ

・24時間降水量 (多い所)
 今日 (7日) 12時～明日 (8日) 12時 東部 40ミリ 中・西部 50ミリ
 ・次の24時間降水量 (多い所)
 明日 (8日) 12時～明後日 (9日) 12時 全域 100～150ミリ

- 梅雨前線は、8日にかけて中国地方を北上し、山陰沖に停滞する。前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、9日にかけて大雨となる見込み。
- 8日昼過ぎから夜のはじめ頃まで、激しい雨が降る見込み。
- 9日まで断続的に雨が降る見込みのため、特に山沿いの地域は、土砂災害に十分注意が必要。

- 最新の気象情報に留意してください。

<防災事項>

- 土砂災害、浸水害、河川の増水、落雷、突風。

<県民のみなさまへ>

- 8日（土）～9日（日）を中心として、梅雨前線が北上する見込みです。（九州、中国、近畿、北陸、東海、中部で大雨の恐れ）
- 前線の動きによっては、本県でも降雨が強まる可能性があります。
- 最新の気象情報で、**浸水害、土砂災害、川の増水・氾濫に注意**ください。
 - ・気象庁の「キキクル（危険度分布）」などの注意情報を確認してください。
 - ・避難所やハザードマップの確認など
 - ・大雨で雨水が溢れないように側溝や水路を掃除

2 市町村・県民への注意喚起等

(1) 市町村への依頼事項(その1)

■ 市町村における対応の徹底

誰ひとり逃げ遅れることなく安全に避難する意識を住民一人ひとりが持つよう、以下の点などを改めて住民に周知してください。

- 早め早めに安全な場所に避難すること（自主避難含む）
- **「警戒レベル4」**で、**危険な場所から避難**すること
- 防災・気象情報をこまめにチェックすること など

○防災タイムラインを活用し、早めの災害対応をお願いします

1 避難情報の発信と周知

- 早期の発出
- 様々な手段を用いて、確実に住民へ伝達
- 夜間の状況を予測して、早め早めに発出を判断

※状況が急変した場合には、夜間でも避難情報の発出は必要

(1) 市町村への依頼事項(その2)

2 事前の準備

① 浸水リスクが高い地域の対策

過去に浸水被害があった地域など、対策の再確認をお願いします。

- ・詰まりやすい用水路の点検や清掃
- ・水位計や監視カメラがない中小河川の状況を収集する体制、連絡系統の確認
- ・必要に応じて排水ポンプ車の要請 など

② 避難情報の判断にあたっての情報収集

必要に応じて県関係課へ助言を求めてください。

常時オンライン情報共有を行うときは接続をお願いします。

③ 初動体制の速やかな確立

気象情報の収集伝達、職員参集体制の確認等

④ 迅速な避難体制の確立

避難指示等の発令基準や消防団等への連絡手段の確認、ハザードマップの活用、避難所の早期開設 等

⑤ 避難行動要支援者等の支援対策の強化

該当施設等への情報伝達体制、避難誘導上の配慮等の確認等

3 被害規模の早期把握と迅速な報告

(1) 市町村への依頼事項(その3)

4 避難所における感染症への対応について

人が多く集まる避難所では基本的な感染症対策を取ってください

①可能な限り多くの避難所を開設

②避難者の健康状態の確認

③マスク着用の推奨、頻繁な手洗い、咳エチケット等基本的な衛生対策の徹底

④避難所内での定期的な換気の実施、避難者同士の十分な間隔を確保

5 避難所における熱中症予防対策の実施

大型扇風機・空調装置（エアコン）の設置、こまめな水分補給の呼びかけ 等

(2) 県民への注意喚起等(その1)

1 最新の気象情報や防災情報に注意して、土砂災害、浸水、川の増水・氾濫に注意してください。

■ 最新の気象情報は、気象庁のホームページ等で確認を。

- 警報、注意報等
- キキクル（危険度分布）な
- 台風情報



(気象庁ホームページ)

■ 市町村は防災行政無線等、県はホームページ、トリピーメール、防災アプリ等で防災情報や公共交通機関の運行情報等を発信。

- 避難情報・避難所開設状況
- 交通情報 ○ライフライン情報
- 道路情報 など



▶ ホームページ「とりネット」

注意情報などのまとめページを設置
(トップページの「防災・救急」又は特設リンクから)

▶ 「あんしんトリピーメール」

スマホや携帯電話等に気象情報や防災情報等をメールで配信

▶ 防災アプリ「あんしんトリピーなび」

鳥取県が提供する無料の総合防災アプリ
(プッシュ通知や最寄りの避難所情報など)

■ NHKのデータ放送（生活・防災情報）やヤフー防災速報でも各種防災情報が確認可能。



鳥取県の防災情報
お届けツールは
こちらのQRコードから

(2) 県民への注意喚起等(その2)

2 家の周囲の災害リスクや避難場所の確認など早めの備えを始めてください。

(1) ハザードマップで家の周囲の災害リスクやいざという時の避難場所を確認

- ・ハザードマップを探し、自宅が何色の場所にあるかを確認し、避難場所までの避難ルートをチェックしてください。
- ・災害時の避難行動に備えてマイ・タイムラインを作成し、家族で災害時の行動についてあらかじめ確認してください。

(2) 大雨への備え

- ・大雨の危険が近づいているというニュースや気象情報などを入手したら、外出先から早く帰宅し、家族全員と連絡を取り合い、早めに災害に備えてください。
- ・大雨時に溢水するおそれのある雨どい、側溝、排水溝は掃除しておいてください。

(3) 強風による飛散、転倒、飛来物による破損への備え

○あらかじめ強風への備えをしておきましょう。

- ・家の周囲にある倒れやすいものなどは、固定するか家の中に入れておく。
- ・窓ガラスに飛散防止用のフィルムを貼っておく。
- ・電柱が倒れて停電・断水になることがあるため、備蓄をしておく。

○強風が吹いている間は注意を怠らないように。

- ・飛散物や転倒による負傷を避けるため、外出はできるだけ控える。
- ・窓やシャッターを閉め、窓ガラスの飛散防止のためカーテンも閉める。

(2) 県民への注意喚起等(その3)

- 3 防災情報や気象庁の「キキクル（危険度分布）」で近くの川が「紫」なら避難してください。
 - ・中小河川の近くでは素早い判断を。（水位が一気に上昇します）
 - ・大きな河川では晴れてからも注意が必要です。（雨が止んでからも水位が上がります）
- 4 土砂災害の前兆現象（裏山等からの濁水、湧水、異音、異臭など）にご注意ください。
- 5 避難する時は、長靴をはかずに歩きやすい服装で。できるだけ2人以上で行動してください。
 - ・冠水している場所や車での避難は危険です。
- 6 外に出るのが危険な時は屋内で少しでも安全を確保してください。
 - ・2階への避難、斜面から離れた部屋への避難など。
 - ・屋内での安全確保は最後の手段で絶対的な安全はありません。早めの避難を。
- 7 避難における新型コロナウイルス等感染症への対応について
 - 避難所で感染症にかからない・うつさないため、基本的な感染防止対策をお願いします。

(2) 県民への注意喚起等(その4)

○雨が止んだ後や弱い雨のときに災害が発生する危険があります

過去の災害では、河川の氾濫や土砂災害が雨が止んだ後や強い雨が降っていない地域で発生した事例があります。

- ・**土壤に含まれる雨の量が多い場合は、弱い雨や雨が止んだ後でも土砂災害が発生する場合があります。**

【例】 R 3年7月3日 静岡県熱海市の土石流

※鳥取県では、「土壤雨量指数」をホームページで公開しています。

<https://d-keikai.sabo-tottori.jp/>

※気象庁では、土壤雨量指数に基づく土砂災害の危険度を「キキクル（危険度分布）」のホームページで公開しています。

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>

3 警戒・即応体制の確保

(1) 県の体制

- 大雨警報が発表された場合等、災害警戒・応急対応を行う体制に移行します。
- ⇒各部局、各市町村におかれては、連絡・即応体制の確保をお願いします

関係機関相互の合同対策協議(情報共有等)のため、必要に応じてweb会議(常時接続)を開設する。

<大雨時の本県の体制>

- ・ 注意体制 大雨注意報、洪水注意報などの発表
- ・ 警戒体制 (1) 大雨警報、洪水警報などの発表
- ・ 警戒体制 (2) 土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報の発表
〔鳥取県災害警戒本部を設置〕
- ・ 非常体制 大雨特別警報の発表、甚大な被害の発生(又は発生の恐れ)等
〔鳥取県災害対策本部を設置〕

(2) 関係機関の対応

中国電力(株)・中国電力ネットワーク(株)の対応

○対応体制の整備

- ・グループ会社を含めた連絡体制の確認、事態に即応した対応体制移行 など

○停電の早期復旧に向けた取組み及び迅速な情報発信

- ・速やかな被害状況の確認・原因の特定、情報収集にあたっての自治体等との連携 など
- ・ビジネスチャットを使用した県土整備局様・NTT西日本様との倒木情報の共有
- ・停電情報アプリ、ホームページ等を活用した情報発信 など

○県民の皆さんへのお願い

- ・切れた電線や垂れ下がった電線には絶対に近づいたり、触れたりしないでください
- ・電柱・電線等が壊れているのを発見した場合、中国電力ネットワークへ連絡してください

NTT西日本(株)の対応

○県関係機関との連携強化及び迅速な情報発信

- ・県土整備局様とのビジネスチャットを使用した倒木等被害の連絡体制構築済み
- ・ホームページ等を活用した通信サービスに関する迅速な情報発信

○災害対策機器の点検、準備

- ・小型ポータブル衛星、携帯型発電機、ドローン、移動電源車等の災対機器の点検、準備済み
- ・浸水の想定される通信設備設置局舎への浸水防止板設置（8局舎）済み

○社内関係部への指示

- ・大雨に備えた保守体制強化、リエゾン体制の準備を指示済み